

授業概要

環境経営（Environmental Management）とは、組織や企業が自らの経営活動において自然環境への影響を最小化し、持続可能な経済活動を追求するための経営手法である。この授業では、脱炭素の視点から環境経営のキーワード、理論と実践スキルを考察し、実際の企業事例を取り上げながら、その実態や諸課題について理解を深めることができるよう講義する。授業の専門知識を応用し、自らの視野と可能性をさらに広げることがを期待する。

授業計画

第 1 回	授業の狙い、全体像、進め方、評価方法および受講上の注意点
第 2 回	地球温暖化と気候変動問題に関する国際的取り組み
第 3 回	脱炭素を実現する経済的手法：カーボンプライシング、ESG 投資
第 4 回	エネルギーの脱炭素戦略（1）太陽光、風力、水力
第 5 回	エネルギーの脱炭素戦略（2）地熱、バイオマス、水素、原子力
第 6 回	エネルギー利用の高効率化戦略（1）EV、FCV、水素
第 7 回	エネルギー利用の高効率化戦略（2）ZEH・ZEB、SAF
第 8 回	二酸化炭素の直接削減戦略（1）CCS・CCU と直接回収
第 9 回	二酸化炭素の直接削減戦略（2）森林管理とブルーカーボン
第10回	脱炭素によるビジネス変革（1）第一次産業
第11回	脱炭素によるビジネス変革（2）第二次産業
第12回	脱炭素によるビジネス変革（3）第三次産業
第13回	サプライチェーンの脱炭素戦略：スコープ1・2・3
第14回	個別企業の脱炭素経営戦略のケーススタディ
第15回	期末まとめ（授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第16回	期末試験（持込可）

到達目標

- ・環境経営論の基礎知識を理解し、関連分野の現状、特徴や諸課題について説明できる。
- ・環境経営論の知識を応用し、自らの視野と可能性を広げることができる。

履修上の注意

- ・授業計画（テーマや順番など）は変更になることがある。
- ・授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。（遅延証明や体調不良等の証明がある場合を除く）
- ・遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、無断欠席が累計 6 回以上の場合、単位付与は行わない。

予習・復習

- ・予習：次回授業で取り上げるテーマについて予習や情報収集を指示する。
- ・復習：前回授業で学習した内容の復習問題と解説を定期的の実施する。

評価方法

- ・平常点：70%（授業内リアクションペーパーの提出をもって総合評価する）
- ・期末試験：30%（配布資料やノート等は持込可）

テキスト

- ・テキストの指定はしない。毎回授業資料を配布する。
- ・授業ごとのテーマに沿った参考文献等は適宜紹介する。